



NPO PTPL “ともいき” 便り No.67

平成 27 年（2015 年）1 月 6 日発行

- 小寒（しょうかん） 平成 27 年 1 月 6 日～1 月 19 日までの節気
新年あけましておめでとうございます。
- 昨年は自然災害が多く、厳しく、困難の多い年でした。今年は平穏な明るい年
でありますように。さあ!! 今日（1 月 5 日）から仕事始めです。しっかりと地
に足をつけて頑張りましょう。
- 冬至（26 年 1 月 22 日（月））の日から数えて 16 日目が小寒で、この日から「寒
の入り」です。
 - まだ松の内の 1 月 5 日（月）で、小寒 14 日間、大寒 15 日間と一年中で厳し
い寒さが続きます。この約 30 日間を「寒の内」と呼び、この期間に寒中見舞
いが出されます。
 - 寒は立春（2 月 4 日（水））の前日、節分の日が「寒の明け」です。
 - 1 月 7 日（水）は五節句のひとつ「人日」です。この日、7 種類の若菜を入
れた粥を食べ、一年間の無病息災を祈ります。現在では七草粥の風習の方が有
名になって、人日「」という言葉、風習は忘れ去られています。
春の七草は、それぞれ緑黄色野菜の一種であり、疲れた胃腸を休め、不足し
た栄養を補います。古人の知恵に頭が下がります。
 - 旧暦では、1 月 1 日あるいは 1 月 1 日から 1 月 7 日までを大正月といます。
元日から門松などの正月飾りを取り除く日までの期間を「松の内」といい、
門松は歳神の依代（よりしろ）と見られるので、松飾りをおろす時が歳神の
帰る時と考えられます。普通には松七日といわれるように七日正月までをい
いますが、期間は土地によって一定していません。
 - 大正月に対して 1 月 15 日（旧暦では 1 月 15 日は満月です。）をまた 1 月 14
日から 1 月 16 日を小正月といます。
大正月が上層の儀礼的性格を持つのに対して、小正月は農耕儀礼の予祝とし
て、農民に大正月よりも重要視されていたのでしょう。農耕や養蚕の神様が
やってくる小正月。豊穰と豊収を予祝する華やかな形に素朴な祈りのこころ

をみます。

- 現在では土用といえば、夏の土用を指しますが元来は、一年に 4 回の土用が設けられ、立春、立夏、立秋、立冬の前の各々18 日間をそれぞれ季の土用としていました。寒土用は冬の土用であり、寒の土用入りといえます。寒の土用明けは節分です。
- 「節分」とは本来、二十四節気の気候に移り変わる立春、立夏、立秋、立冬の前日をいいます。それが次第に立春前日の夜を指すようになりました。二十四節気は立春からはじまり、大寒をもって一巡しますが、その大寒の最終日が「節分」であり、新暦の2月3日頃にあたります。
- ※「ともいき暦」の表紙、「小寒」の14日間のブロックの○印をクリックして参考にしてください。
- ※小寒と67候、68候、69候の映像もお楽しみください。
<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>
- ※一日一回、「ともいき暦」を。「ともいき暦」は今を生きる人々の生活の知恵です。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

● 「自分さえよければ」

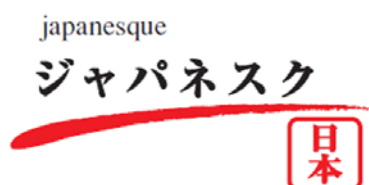
先達が育み、培ってきた日本人の生きる知恵・生活の知恵・思想が失われてきているように感じられます。

自分の利益を守るためには手段を選ばない、「自分さえよければ」という極端な利己主義が蔓延しているように感じられてなりません。「さもし根性」の人が多くなってきているのでしょうか。日本人ということから、かけ離れた日本人が多くなっています。日本人を取り戻すには、先達の生きる知恵・生活の知恵・思想を学び、日本を見つめ直すことが大切であり、われわれの進むべき道も見えてくるに違いありません。

- 平成 27 年は戦後 70 年、グローバル時代、世界も日本も大きく揺れ動いています。われわれはどこを向いて、何を目指したらよいのでしょうか。
- 平成 27 年は NPO PTPL にとって、また、日本にとっての「ジャパネスク運動」元年です。
- NPOPTPL の目指すところは、「人と人、人と自然のコミュニケーションの豊か

な社会づくり」、「人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさの溢れた社会づくり」です。その基盤となるのが日本の本質、日本のアイデンティティ、日本的なるもの「ジャパネスク」です。

- 共に生きる「ともいき」という価値観・生活観、共に生み出す「ともうみ」という想像力（発想力）・創造性、そして共に幸に生る（共に幸に生きる）「ともさち」という倫理観・社会観。これが目に見えない「ジャパネスク」であり、日本人の精神的基盤です。
そして、目に見えない「ジャパネスク」、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」でつくりあげた形のあるモノ・コト・文化が目に見える「ジャパネスク」です。この二つを総称して「ジャパネスク」とNPO PTPLでは呼ぶことに決めました。
- 過去、現在の「ジャパネスク」を継承し、その「ジャパネスク」を日本人に、日本在住の外国人に広く、深く啓蒙・訴求し、さらに一步進んだ斬新で独創的な「ジャパネスク」を創造し、日本人に、そして世界へ啓蒙・訴求しているのが「ジャパネスク運動」です。
- 「ジャパネスク」は明日を創るために、世界中が探し求めている普遍的なものになる可能性が大であり、地球上の諸民族の心と生活をつなぐ、いわば文化交流のための共通言語になることでしょう。
- とても難しい困難な啓蒙活動ですが、「いま」がその活動の出発点であると考え、立ち向かってゆく覚悟です。賛同していただけるすべての人々が結び合い、助け合い、支えあって、この運動を推進していこうではありませんか。
- NPO PTPL が企画・制作・運営している8つのサイト。そして新しい「ジャパネスク」のサイトに馴染んでいただけたら幸甚です。
なお、「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」「ともいきぐらし」「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」のフェイスブックにもコメントをどうぞ。お待ちしております。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●今年、最初の「ともいき便り」をお届けします。

今年も、季節を感じながら日本人としての矜持が感じられる「ともいき便り」を目指していきますので、ご支援のほど、なにとぞ、よろしく願いいたします。

さて、正月早々から全国各地は大雪の影響で大荒れです。今冬は当初の予報より厳しさが増してようです。皆さま、くれぐれもお身体ご自愛いただき、平成27年が素晴らしい年になりますようお祈りいたします。

●福袋

毎年正月の恒例になった「福袋」があります。今年は、例年に比べ様相が変わっているようです。それは、日本人のみならず多くの外国人客が両手でも抱えきれないほどの「福袋」を購入している姿が報道が報道されていました。福袋つまり「Lucky Bag」が外国人客の心をとらえたようで、購入者はみんな笑顔でインタビューに答えていました。やはり一年の始まりに「福=Lucky」にあやかりたい心境は古今東西同じようですね。皆さんもお買いになりましたか？

●平成27年は「ジャパネスク運動」の本格的な始動の年です。

昨年、NPO PTPL では「ジャパネスク」公式サイト (<http://japanesque.tokyo/>)
並びにフェイスブック「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」
(<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo>)を立ち上げました。

「ともいきぐらし」 <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」 <https://www.facebook.com/oragafuji>
と同様にご覧ください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp